

中部E S D拠点運営委員会（第33回）議事メモ

日 時 平成23年6月6日（月）18時30分～20時35分
場 所 中部大学名古屋キャンパス（8-C教室）
出席者 竹内委員長、千頭副委員長、黒岩、羽後、武者小路、新海、の各委員
事務局 古澤、桃井

議 事

1. 報告事項

1) 東北地方太平洋沖地震現地（R C E仙台広域圏）視察の報告

古澤事務局員より、4月25日～27日に行った東北地方およびR C E仙台広域圏の視察に関して、資料に基づき報告があった。宮城教育大学のボランティア派遣や支援物資の配給、R C E仙台広域圏が実施する「みやぎ・仙台未来づくりプロジェクト」の一環として開催される震災復興をテーマにしたセミナーの予定なども合わせて報告された。また、古澤事務局員が参加したRQ市民災害救援センターの支援方法や、中部E S D拠点が呼びかけている紙芝居を贈るプロジェクトの進捗も報告された。

2) 愛・地球博記念公園地球市民交流センターのパートナー登録について

古澤事務局員より、本年9月17-18日に愛知県で開催される「E S Dの10年・地球市民会議2011」の二日目の会場となる地球市民交流センターの会場確保のため、中部E S D拠点協議会として地球市民交流センターにパートナー登録を行った旨が報告された。

2. プロジェクトの進捗について

羽後委員より、勝川弘法塾を開始し、第1回の講座が実施されたことが報告された。また、今後は、i-dialogとの連携を進めていきたい旨が報告された。また、武者小路委員より、中間報告として、現在、先住民とローカル知をテーマにS I L C（Supporter of Indigenous and Local Community）ネットワークが構築されつつあること、C O P 1 1までに、日本とインドの連携を深めたいことなどの報告があった。

3. 2014年最終年会合に向けた準備について

○ 中部E S D拠点の対応について

2014年に日本で開催されるE S Dの10年の最終年会合の愛知県誘致に関して、以下のよう
に情報提供があり、種々意見交換をおこなった。

（報告事項）

- ・2014年会合の公募は震災などの影響で遅れている。
- ・愛知県は準備会を設置し、中部E S D拠点（竹内・古澤）を含め、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋商工会議所、中部経済連合などがメンバーに入っている。
- ・現在、愛知県庁（産業労働部観光コンベンション課を中心に）で誘致の計画案を作成している。
- ・誘致の資料には、今後の地元でのE S D推進体制も記述する欄があり、その中で中部E S D拠点の位置づけは大きい。

(意見交換)

- ・ 2014年の最終年会合では何を決めるのか：ふたつの可能性があり、ひとつは①もう10年間DESDを続けるという提案ができる。あるいは②この10年で蓄積した知識を元に、国連のさまざまなプログラムにESDを入れ込んでいくことを決めることができる。(武者小路)
- ・ 愛知県のESDをどうプログラミングしていくかを考える上で2点確認したい。①中部ESD拠点に愛知県のESD推進を引き受ける覚悟はあるか、②(RCEの事務局を2014年以降に引き継ぐ、などの)国際的なリーダーシップを取ることにやる気はあるか。(新海)
- ・ 2014年の誘致をきっかけに、行政や企業など、これまでに関わりが薄いセクターが参加してくることが重要。そのためには良い機会ではないか。(桃井)
- ・ 生物多様性やESDなど、テーマ別で複雑。これからは、どのように広く「持続可能な発展」を考えるネットワークができるのかを考えることが重要。(羽後)
- ・ 環境だけではないESDは広い。生物多様性より広い対象が関心を持つのではないか。(黒岩)
- ・ 中部ESD拠点運営委員会は広いアンブレラ。愛知県の誘致に向けた体制は、こちらからも数名出て、行政なども入ったワーキンググループを作る必要があるのでは。(竹内)
- ・ 誘致のために世界遺産もキーワードの一つと言うが、愛知には産業遺産や産業観光がある。この点も愛知県に伝えるべきではないか。(黒岩)

○ ワークショップの開催について

6月4日にESDの10年・世界の祭典推進フォーラム(以下、祭典フォーラム)より提案があった中部ESD拠点のワークショップを開催する予定であったが、祭典フォーラム理事会の意向に変化があり、以後、ワークショップは「RCE」「CSR」「ユネスコスクール」などに分けた6つのグループで分科会として実施することとなった。このため、6月4日のワークショップ開催は延期とし、今後の実施計画を議論した。具体的には、2014年に向けた愛知・名古屋のESD推進に関するワーキンググループの立ち上げを視野に入れ、2014年に向けて地元としてのあるべき姿を「たたき台」を準備して議論することとした。日程は、調整の結果8月20日を候補とすることとした。

4. 地球市民フォーラム2011の開催について

本年9月17-18日に愛知県での開催が決まっている「ESDの10年・地球市民フォーラム2011」に関して、主催団体である「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラムから受けたプログラム案を参考に、種々議論を行った。初日のシンポジウムでは、開催地であるこの地域および中部ESD拠点からの登壇者がいないことに対して、同フォーラムに提案していくべきではないか、といった意見や、中部ESD拠点の活動を報告できる場が必要ではないか、という議論があった。なお、17日には中部大学でESDの国際シンポジウムが予定されているため、事務局として17日の手伝いができないことや、夜のレセプションには中部大学シンポジウム参加者も同流することが古澤事務局員より報告された。

5. その他

- 「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラムが実施しているESDの10年事業化ワークシ

ヨップの一環として、宮城教育大学で6月26日に開催される「RCE事業化ワークショップ」に関して、参加者の決定と参加の趣旨確認を行った。参加予定者は、事務局より古澤事務員が、当日午前には羽後委員が、テーマ次第ではESDJの総会に出席予定の新海委員が参加する意向を表明した。また、震災復興に関して、現状では紙芝居プロジェクトのような活動もあるが、今後、中部ESD拠点から物資を送ったり人を派遣したりというよりは、来たるべきこの地域の震災に向けた防災のあり方や震災後の対応に関して情報交換を行うなど、持続可能な社会づくりに向けた学びの連携を行うことを表明することとした。

○次回運営委員会日程について

次回の中部ESD拠点運営委員会は2011年7月5日(火)18時半～20時半に開催することとした。

以上